

測定活動における感染症対策の実施例 ～屋内における持久力テスト等編～

HPSCでは、体力測定においても感染症対策の徹底を図っています。
測定項目の特徴に応じて、留意すべき内容を検討し、対策を講じる必要があります。
今回は、HPSCが実施している屋内における持久力テスト等での対策実施例を紹介します。内容の細部
詳細な点については、各施設の状況や環境にあわせて適宜調整、工夫をしてください。

HPSCでは、実施場所の確保や寒冷（暑熱）環境を避けるという観点から本測定を室内で行っていますが、
可能であれば屋外での実施を検討ください。

注意すること

呼気・汗を浴びない工夫

- ⇒ 測定者はゴム手袋・マスク・ガウン・フェイスシールドを必ず着用する
- ⇒ 測定時や待機時には選手同士の間隔が2m以上空くようにする

機器の消毒

- ⇒ 選手毎に選手が触れた部分や飛沫（呼気や汗）付着部分を消毒する

換気の徹底

- ⇒ 窓の開放やサーキュレーターを使用して常に換気ができる状態を保つ
- ⇒ 換気のできない部屋では実施しない

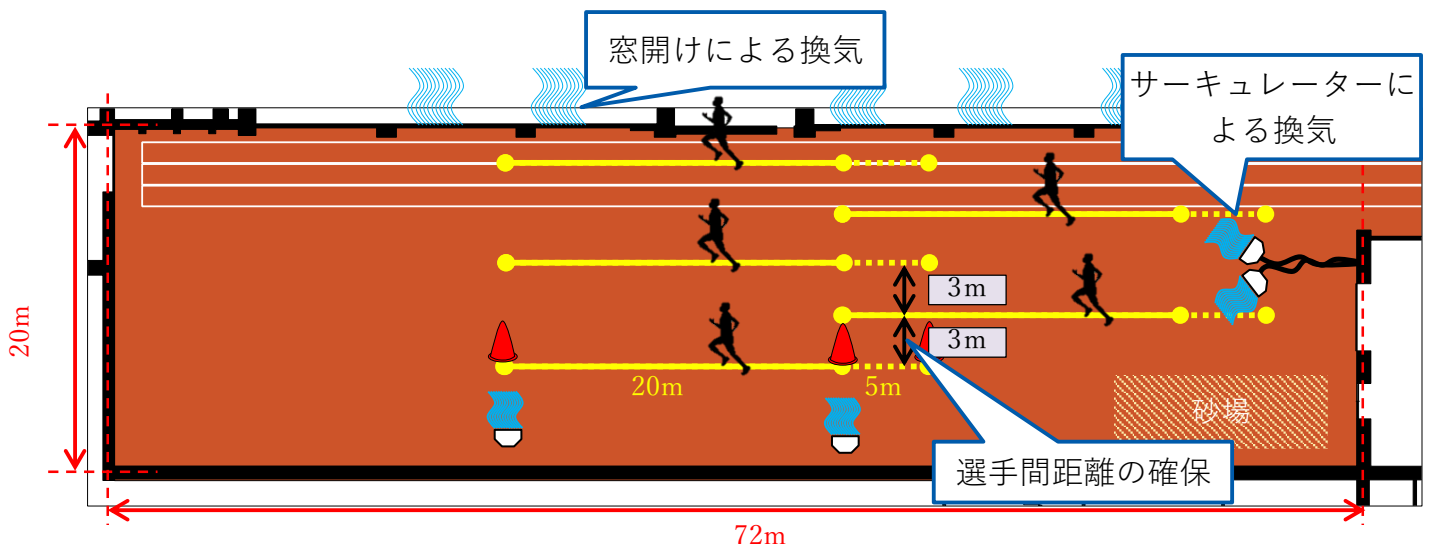
チェックリストの活用

- ⇒ 感染者が発覚した際に濃厚接触者を追跡するために、選手ごとに測定者の行為等を記録し、一定期間保管する
- ※ 飛沫が多い測定や接触を伴う測定の場合

実施例

HPSCにおける実施環境例（Yo-Yo Intermittent Recovery Test の場合）

- 測定場所：室内陸上実験場
【広さ】横72m×縦20m×高さ10m以上 【換気状態】窓開け&空調による換気可
- 走レーン決定基準
 - ✓ 選手間を3m空けるように設定する
 - ✓ 列をずらし、レーンの重なりを最小限に設定する
 - ✓ 全選手は同一方向に走る
- 換気の考え
 - ✓ 選手の呼気が滞留しないようにサーキュレーターで攪拌をする
 - ✓ サーキュレーターのコードが選手の邪魔にならないように考慮して適宜配置する



2021年3月 スポーツ科学部・測定技術グループ